



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月5日

上場会社名 株式会社IMAGICA GROUP
 コード番号 6879 URL <https://www.imagicagroup.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布施 信夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 森田 正和
 四半期報告書提出予定日 2020年2月6日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6741-5742

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	67,405	6.3	357		310		815	
2019年3月期第3四半期	63,387	1.7	691		685		307	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 142百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 2,128百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	18.49	
2019年3月期第3四半期	6.97	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	60,281	28,145	42.7
2019年3月期	64,725	27,897	38.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 25,748百万円 2019年3月期 25,150百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		5.00	5.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,000	3.1	1,200	29.6	400	49.3	1,200		27.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(参考) 営業利益には、費用としてのれん等償却費約11億円が含まれています。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社IMAGICAトータルサービス

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	44,719,667 株	2019年3月期	44,531,567 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	468,341 株	2019年3月期	478,341 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	44,087,258 株	2019年3月期3Q	44,151,318 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2)財政状態に関する説明	3
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1)四半期連結貸借対照表	4
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第3四半期連結累計期間の概況

当社は、グループを取り巻く成長機会と経営課題を踏まえ、グループの構造改革を加速し、成長と収益性を伴ったバランスのとれた事業ポートフォリオの構築を目指し、新中期経営戦略『総合力2021』を策定いたしました。

当期は、この新中期経営戦略に基づき、収益体質立て直しの年と位置付け、「映像を軸にグループ総合力を発揮」することを基本方針とし、各事業セグメントにおいてそれぞれの重点項目に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は674億5百万円(前年同四半期比6.3%増)、営業利益は3億57百万円(前年同四半期は営業損失6億91百万円)、経常損失については、営業外費用に、為替差損並びに持分法投資損失等を計上したことにより、3億10百万円(前年同四半期は経常損失6億85百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億15百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億7百万円)を計上いたしました。なお、固定資産譲渡等による特別利益16億88百万円を計上いたしております。

②セグメント別の業績

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

1)映像コンテンツ事業

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は200億38百万円(前年同四半期比22.7%増)、営業損失は2億3百万円(前年同四半期は営業損失1億49百万円)となりました。

上期には実写、アニメともに劇場映画作品の制作規模の拡大並びに件数が前年同期比で増加、また、TVCM、音楽ライブ収録も大型を含む案件数が増加して好調に推移し、増収となりました。なお、当第3四半期においては、TVアニメシリーズの制作数減少や映画作品等の第4四半期以降への期ずれがありました。

営業利益については、映画作品の製作委員会への出資に対する評価損等により、営業損失を計上しております。

2)映像制作サービス事業

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は192億49百万円(前年同四半期比4.1%減)、営業利益は1億83百万円(前年同四半期比7.5%増)となりました。

映像コンテンツのポストプロダクション並びにE2Eサービス分野においては、デジタルシネマサービスが順調に進捗し、映画・アニメ向け等のポストプロダクションサービスは堅調に推移しており、売上は前期並みになりました。また原価コントロールが貢献し、利益面においては改善が継続しております。

一方、人材サービス分野においては、連結子会社1社の売却やデジタルコンテンツ事業拡充への投資等により、前期に比して減収減益となりました。

※E2Eサービス:End to End。劇場映画やテレビドラマ作品などの映像コンテンツを編集等により作品として完成させた後に提供するサービス全般を言い、主にローカライズ(吹替、字幕付)とディストリビューション(*1)を統合したサービスを言う。

(*1)ディストリビューションとは、各メディア(劇場、VODやDVD/BDなど)へ映像コンテンツを配信するため、完成した作品の原版から、それぞれのメディア用にデータを作成、データチェック、納品の作業、及びその工程管理・素材管理を包括的に行うサービス。

3)メディア・ローカライゼーション事業

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は165億16百万円(前年同四半期比9.5%減)、営業損失は7億29百万円(前年同四半期は営業損失12億11百万円)となりました。

売上高については、欧州地域のテレビ番組向けローカライズの不調及び連結子会社2社の売却により、減収となりました。しかしながら、利益率の高い制作案件の好調な推移とともに、制作体制の見直しによる固定費削減を確実に進めたこと等により、売上の減少影響を抑制して損益が改善しております。

なお、2019年4月より持分法適用関連会社となったPixellogic Holdings, LLCと連携し、新規映像配信プラットフォーム向け等の受注増の取り組みを継続しております。

4) 映像システム事業

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は127億84百万円(前年同四半期比27.4%増)、営業利益は14億78百万円(前年同四半期比79.8%増)となりました。

映像システム分野においては、上期に計上した放送局向け大型案件に加え、各案件の納品を順調に進めております。またCMオンライン送稿システムもマーケットニーズの拡大もあり販売を順調に伸ばしております。イメージング分野においても、ハイスピードカメラ新製品の欧米での販売が好調に推移しており、映像システム事業全体で大幅な増収増益を達成いたしました。

※前連結会計年度まで「プロ用映像機器分野」と記載し報告してまいりました事業分野について、直近の業態に即し、「映像システム分野」に名称を改めました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて51億61百万円(12.9%)減少し、349億57百万円となりました。

これは主に、たな卸資産が増加した一方で、現金及び預金、並びに受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7億17百万円(2.9%)増加し、253億23百万円となりました。

これは主に、土地が赤坂ビデオセンター売却に伴い減少した一方で、関係会社株式がPixelogic Holdings, LLCの株式取得に伴い増加したことによるものであります。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて44億44百万円(6.9%)減少し、602億81百万円となりました。

②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて36億45百万円(13.6%)減少し、230億67百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金、短期借入金、前受金及び賞与引当金が減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて10億47百万円(10.4%)減少し、90億68百万円となりました。

これは主に、長期借入金、長期未払金及び退職給付に係る負債が減少したことによるものであります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて46億92百万円(12.7%)減少し、321億35百万円となりました。

③純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて2億48百万円(0.9%)増加し、281億45百万円となりました。

これは主に、非支配株主持分が減少した一方で、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、2019年5月14日に公表した数値を変更しております。詳細は、本日(2020年2月5日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,079,172	5,720,764
受取手形及び売掛金	19,043,240	13,436,154
たな卸資産	11,352,166	12,702,357
その他	3,704,760	3,144,546
貸倒引当金	△60,006	△46,460
流動資産合計	40,119,332	34,957,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,249,767	13,166,192
減価償却累計額	△9,682,599	△9,827,187
減損損失累計額	△64,483	△64,483
建物及び構築物(純額)	3,502,684	3,274,521
機械装置及び運搬具	10,979,003	10,387,330
減価償却累計額	△10,752,343	△10,133,209
減損損失累計額	△109,269	△101,746
機械装置及び運搬具(純額)	117,391	152,374
土地	2,944,295	1,705,819
リース資産	1,761,200	1,854,607
減価償却累計額	△960,522	△1,191,784
リース資産(純額)	800,677	662,822
建設仮勘定	60,508	354,113
その他	5,206,019	5,333,984
減価償却累計額	△3,540,247	△3,872,412
減損損失累計額	△7,270	△7,270
その他(純額)	1,658,500	1,454,301
有形固定資産合計	9,084,058	7,603,951
無形固定資産		
ソフトウェア	1,189,223	1,142,709
のれん	3,769,751	3,215,129
その他	4,377,450	4,033,467
無形固定資産合計	9,336,425	8,391,306
投資その他の資産		
投資有価証券	2,780,364	3,060,322
関係会社株式	306,705	2,799,557
敷金及び保証金	1,177,433	1,466,307
繰延税金資産	1,407,252	1,466,167
その他	624,476	669,394
貸倒引当金	△110,528	△133,021
投資その他の資産合計	6,185,703	9,328,728
固定資産合計	24,606,187	25,323,986
資産合計	64,725,520	60,281,348

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,657,281	5,404,571
短期借入金	5,375,309	4,593,809
未払金	3,688,369	3,411,168
未払法人税等	646,989	473,514
前受金	5,735,832	5,051,859
賞与引当金	1,131,264	608,956
役員等報酬引当金	146,678	89,148
受注損失引当金	73,117	120,393
その他	3,257,658	3,314,026
流動負債合計	26,712,502	23,067,449
固定負債		
長期借入金	6,169,835	5,657,035
長期末払金	316,773	174,126
繰延税金負債	493,520	454,283
退職給付に係る負債	1,356,280	1,217,223
その他	1,779,206	1,565,616
固定負債合計	10,115,616	9,068,286
負債合計	36,828,119	32,135,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,244,915	3,299,825
資本剰余金	14,816,170	14,865,376
利益剰余金	7,286,290	7,881,099
自己株式	△489,754	△479,516
株主資本合計	24,857,620	25,566,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	741,443	801,823
繰延ヘッジ損益	△1,346	266
土地再評価差額金	△17,933	△17,933
為替換算調整勘定	△442,700	△613,203
退職給付に係る調整累計額	12,919	10,276
その他の包括利益累計額合計	292,382	181,230
新株予約権	—	11,520
非支配株主持分	2,747,397	2,386,075
純資産合計	27,897,401	28,145,612
負債純資産合計	64,725,520	60,281,348

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	63,387,860	67,405,791
売上原価	47,127,991	50,485,820
売上総利益	16,259,869	16,919,971
販売費及び一般管理費	16,950,960	16,562,348
営業利益又は営業損失(△)	△691,090	357,622
営業外収益		
受取利息	1,782	124,313
受取配当金	33,562	31,270
持分法による投資利益	38,788	—
為替差益	33,055	—
その他	167,670	123,372
営業外収益合計	274,859	278,956
営業外費用		
支払利息	242,071	255,916
持分法による投資損失	—	460,583
為替差損	—	91,580
その他	26,964	139,093
営業外費用合計	269,036	947,173
経常損失(△)	△685,267	△310,595
特別利益		
固定資産売却益	2,801	1,650,441
その他	369,510	37,813
特別利益合計	372,312	1,688,254
特別損失		
固定資産売却損	24,326	—
固定資産除却損	23,723	19,310
投資有価証券売却損	—	13,650
移転関連費用	22,100	25,200
その他	14,803	1,693
特別損失合計	84,953	59,854
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△397,908	1,317,804
法人税等	527,048	1,001,906
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△924,957	315,898
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△617,393	△499,177
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△307,564	815,076

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△924,957	315,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,047,546	59,768
繰延ヘッジ損益	388	1,613
為替換算調整勘定	△154,193	△232,477
退職給付に係る調整額	△1,788	△2,642
その他の包括利益合計	△1,203,139	△173,737
四半期包括利益	△2,128,097	142,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,448,999	703,923
非支配株主に係る四半期包括利益	△679,097	△561,763

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 サービス	メディア・ ローカライ ゼーション	映像 システム	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	16,220,120	19,368,893	17,971,102	9,742,475	63,302,591	85,268	63,387,860
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	114,025	701,233	269,150	292,893	1,377,302	△1,377,302	—
計	16,334,146	20,070,127	18,240,252	10,035,368	64,679,894	△1,292,033	63,387,860
セグメント利益 又は損失(△)	△149,283	170,817	△1,211,659	822,344	△367,781	△323,309	△691,090

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△323,309千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益893,477千円及びセグメント間取引消去△1,216,787千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 サービス	メディア・ ローカライ ゼーション	映像 システム	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	19,959,876	18,525,204	16,456,483	12,455,848	67,397,412	8,379	67,405,791
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	78,594	724,035	59,826	328,711	1,191,168	△1,191,168	—
計	20,038,471	19,249,240	16,516,310	12,784,560	68,588,581	△1,182,789	67,405,791
セグメント利益 又は損失(△)	△203,206	183,546	△729,751	1,478,415	729,004	△371,382	357,622

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△371,382千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益1,281,935千円及びセグメント間取引消去△1,653,317千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。